

# 森の館通信

森に入ると木の幹や葉の裏にカタツムリがいたり、少し前まで幼虫だったテントウムシやチョウ・蛾などが成虫となり、飛び回っています。



スズ沼周辺では、シュレーゲルアオガエルの声がかすみ、かわりに、トノサマガエルやニホンアマガエルの鳴き声が聞こえるようになりました。季節の移り変わりに合わせて、観察できる生きものも少しずつ変化しています。



# 生きものみつけ!

## カメムシ目アメンボ科 ヒメアメンボ

- ◆大きさ：8.5～11mm (頭～おしりまで)
- ◆体重：0.03g
- ◆見られる時期：3～11月
- ◆生息環境：池や沼、田んぼなど
- ◆産卵場所：水中 (水草の茎や木の枝など)
- ◆越冬場所：落ち葉の下など
- ◆食べもの：昆虫

成虫になると長い羽が生えますが、一生のうちほとんどを水の上で過ごすので、あまり飛ぶことはありません。

おなかの横にある穴「気門」で呼吸をします。  
水中では呼吸が出来ないので、水中にもぐる事はできません。

羽

気門



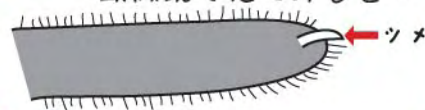
どうしてアメンボという名前になったの?

棒のような長い体からアメのような甘い白いを出すため「飴ん棒」と呼ばれていて、それが変化して「アメンボ」と呼ばれるようになったよ。

アメンボって  
なんで沈まないの?

それはね…  
足にヒミツが  
あるんだよ。

足の先を  
顕微鏡で見ると…



毛がいっぱい!

足の毛に口から出した油を塗り、水をよく弾くようにするので沈みません。

ですが、洗剤などの生活排水が混じっている汚い水だと、油が分解されてしまうので、浮くことが出来ません。アメンボが生息するためには、きれいな水場が必要です。

この毛は、食べもの探しにも大活躍。昆虫などが水に落ちた時にできるちいさな波を足で察知して獲物を見つけます。

獲物を見つけるとツメで捕まえ、針のような口を突き刺して体液を吸います。

ふだんはこう

食べるとき



# イベントのおしらせ

※この他にも、いろいろなイベントがあります。最新情報は、ホームページまたは電話にて、ご確認ください。

## 森の学習 ~森のカタツムリを調べよう~ **要予約**

6月15日(日) 13:00~15:00

「森のカタツムリを調べよう」をテーマに森を散策します。森にはどんなカタツムリがいるかな?一緒に調べてみましょう!

※指導協力

NPO法人いっちゃんクラブ

対象:小学生以上  
(小学3年生以下保護者同行)

参加費:200円

定員:15名



## 大人のための自然観察会 **要予約**

6月23日(日) 13:00~15:00

この木なんの木、気になる木。  
木は種類が多くて覚えるのが大変だと思いませんか?じっくり観察すると、面白い発見が色々ありますよ。  
「初心者の方大歓迎です!」  
自然の不思議、面白さを是非体感して下さい。

対象:18才以上

参加費:200円

定員:15名



### 問合せ・申込み先

## 堺自然ふれあいの森

〒590-0124

大阪府堺市南区畑1740番地

Tel: 072-290-0800

堺自然ふれあいの森



※イベント情報  
や最新の自然情報  
などが閲覧できます



開園時間: 9:00~17:30

休園日: 月曜(祝日の場合、翌日休み)

<バス>

泉北高速鉄道「泉ヶ丘」駅  
南側②番のりば「鉢ヶ峯行き」  
「公園墓地北口」下車 徒歩約1,200m  
※日・祝は「堺公園墓地行き」あり  
「自然ふれあいの森前」下車すぐ

<車>

駐車場無料 P40台  
阪和自動車道 堺ICより  
泉北ニュータウン方面へ約7.5Km  
「堺公園墓地」を目標にお越しください